

年(平成22年)9月26日(日) 14A

# ハイチ救援活動テーマに

## AMD A・菅波代表が講演



# 県立大「災害セミナー」

国際医療支援での信頼関係について語る菅波代表  
＝北区の岡山国際交流センターで

国際医療救援団体「AMD A」(本部・北区)の協力による県立大の公開講座「災害セミナー」が25日、北区奉還町2の岡山国際交流センターであり、菅波茂・AMD Aグループ代表が今年1月に発生したハイチ大地震救援活動などをテーマに講演した。

菅波代表は1月のハイチ大地震などを例に援助を受ける被災者の気持ちについて話した。菅波代表は「助けられる側は『なぜ助けるのか』と疑問を持っている。後で高額な請求をされる場合もあり、説明のない親切は受け入れられない」と指摘。AMD Aは相互扶助をモットーに活動しているが「困った時はお互い様」という考え方は国際社会では一般的でないという。

実例として、第二次世界大戦後の対日賠償請求の放棄など歴史的経緯を支援理由の一つとして説明し、相互扶助を理解してもらったことを紹介した。また、ハイチの子供とサッカーで交流したことを挙げ「決して見放されていない、と伝えることが一番重要」と強調した。

同研究科1年の田中小百合さん(23)は「感謝の気持ちを自分から伝え、人の信頼を得られる一人前の人間になりたいと思った」と話した。

【石川勝義】